

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:80,455,613円
(その他補助金13,077,542円、事業収入10,725,071円、市負担金収入56,653,000円)
- 支出決算額:74,787,532円

2 事業の成果

- **受注促進・販路開拓支援事業:**地域企業への新規受注獲得のため県外企業を訪問し、個々のニーズへのきめ細かな対応を進めた結果、引き合い件数 659 件のうち 59 件(約 8.9%)が成約につながった。複数の加工技術を組み合わせた中間製品(ユニット)や完成品を客先へ納入する案件が増加し、金属製品製造業としての総合力が求められる傾向が強くなった。
- **技術系展示会出展事業:**地域企業と共同出展して加工技術を PR した結果、引き合い総件数 285 件のうち 37 件(約 13%)が成約し、金額にして約 9,040 万円の受注を獲得できた。
- **地域デザイン力発信事業:**グッドデザイン賞の取得支援、グッドデザインエキシビション 2014 への出展に加え、世界的に評価の高い海外デザイン賞の取得に関するセミナーを開催。参加企業が申請したうち一点がドイツの Red dot デザイン賞において特に優れていると認められた「ベスト・オブ・ザ・ベスト」を受賞した。
- **海外販路開拓支援事業:**シンガポール共同事務所の駐在員及び現地活動員と連携して営業活動を行い、燕三条の金属製品、コメ、日本酒などを現地の日本食の高級レストランなどに納入することができた。また、海外の展示会に地域企業と共同出展し、新たな顧客を開拓することができた。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業 (担当:企業支援課)

(収入決算額:15,463,000 円、支出決算額:15,348,938 円)

① 地域外企業訪問による受注促進

地域企業への新規受注獲得のため、県外企業を中心に燕三条地域のものづくり技術力をPRした。特に、新聞などで報道された業績好調な金型部品、小型家電、装飾品などのメーカーへの企業訪問を重点的に行った。また、地域企業と一緒に航空機部品メーカーや動物用医療機器メーカーなどを直接訪問し、商談を行った。

② 地域外有力企業の招へいによる受注促進(新規)

県外製造企業の開発設計者及び購買担当者などを招待し、あらかじめ要望案件に対応できる企業を選定、センター職員と一緒に工場を訪問しながら商談のきっかけづくりを行った。

③ 地域内企業への情報提供による事業活動の活性化支援

産業振興部の登録企業約 600 社を対象に、最近の受注動向、展示会出展やセミナー開催の案内、新商品・新技術などの開発情報を FAX で配信した。(リサーチコア通信、全 7 回発行)

④ 燕三条地域企業が保有する技術情報などを地域外企業へ配信

地域外企業への情報配信用データベースを整備し、最新の地域企業のトピックや加工技術の動向などについて地域外企業へ電子メールで配信し、ビジネスマッチングの機会を提供した。

(単位:件)

	受注斡旋				引合件数 小計	各 種 相 談
	成 約	見 積 中	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
H26 年度	59	76	504	20	659	105
H25 年度	69	40	438	12	559	117
H24 年度	56	48	469	16	589	149

◆ 引き合いの主な分野

①機械加工(92件 14%)、②表面処理(88件 13.3%)、③工業製品の製造対応(71件 10.8%)

◆ 成約の主な分野

①工業製品の製造対応(8件 14.0%)、②表面処理(8件 14.0%)、③各種刃物・工業用刃物(4件 7.0%)、④パイプ・線材加工(4件 7.0%)、⑤生活関連商品の製造(4件 7.0%)などの順である。

◆ 受発注打合せ件数

(単位:件)

	地域内 (市内) 企業訪問	地域外 (県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室 打合せ	県外企業 来室 打合せ
H26年度	578	148	142	134	140
H25年度	770	28	134	175	164
H24年度	675	20	113	174	165

⑤ 燕三条地域企業ガイドブックの最新情報更新

⑥ 「燕三条 工場の祭典」の開催(新規)

金属加工の産地である燕三条地域の包丁、農具、大工道具、ステンレス製調理器具、洋食器などの高い生産技術を誇る工場が、普段は見ることのできない現場を一斉に開放し、職人の手仕事や各工場で実施されるワークショップを通して、一般の人々がものづくりを見学・体感することができるイベントを開催した。

ものづくりのプロセスや工場の様子を感じてもらい機会を一般の方やバイヤーなどに提供して、ものの価値や工場の魅力に気付いてもらい、顧客やファンの開拓、雇用や後継者の確保などにつなげていくとともに、地域資源である工場の魅力を最大限に発揮することで、地方都市である燕三条地域に日本全国・海外から人が集まることを目指した。

◆ 開催日:平成26年10月2日(木)～5日(日)(4日間)(H25年度:H26.10/2～6、5日間)

◆ 参加企業:59社・団体(H25年度:54社・団体)

◆ 来場者数:12,661人(H25年度:10,708人)

(2) 技術系展示会出展事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:17,703,000円、支出決算額:17,137,347円)

① 東京と大阪で開催した加工技術の展示会へ地域企業と共同出展、地域の特徴的な加工部品・新商品等を展示PRし、会期中並びに会期後のフォローアップを通して新規受注開拓を行った。

名称(会場)	開催期間 (共同出展数)	来場者数 (H25参考) (H24参考)	引合件数 (H25参考) (H24参考)	成約件数 (H25参考) (H24参考)
第18回機械要素技術展 (東京ビッグサイト)	H26.6/25-27 (24社)	80,606人 (87,760人) (86,325人)	189件 (251)〈23社〉 (166)〈23社〉	28件 (26)〈23社〉 (9)〈23社〉
第17回関西機械要素技術展 (インテックス大阪)	H26.9/24-26 (9社)	36,939人 (39,972人) (34,778人)	96件 (91)〈7社〉 (99)〈9社〉	9件 (9)〈7社〉 (2)〈9社〉

(※引き合い件数:試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計)

② 機械要素技術展及び関西機械要素技術展への共同出展では、各展示会に外部アドバイザー1名を委嘱し、共同出展企業を対象に展示方法やアテンドの方法などについて指導していただき、来場者の目に留まるよう効果的な出展を行った。

(3) 地域デザイン力発信事業(担当:燕三条ブランド推進室)

(収入決算額:3,993,000 円、支出決算額:4,056,148 円)

① 海外デザイン賞取得支援

世界的に評価の高い「IF デザイン賞」「Red dot デザイン賞」の概要、申請方法等を紹介するセミナーを開催した。

◆ 開催日:平成 26 年 12 月 3 日(水)

◆ 講師:(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長 鈴木 里美 氏

◆ 参加者:28 名

※平成 26 年度は参加企業が Red dot デザイン賞「ベスト・オブ・ザ・ベスト」を受賞した。

② グッドデザイン賞取得支援

◆ 応募説明会の開催

・ 開催日:平成 26 年 5 月 23 日(金)

・ 説明:公益財団法人日本デザイン振興会 事業部課長代理 川口 真沙美 氏

・ 特別講演:ifs 未来研究所 所長 代表 川島 蓉子 氏

・ 参加者:42 名

◆ 二次審査会の開催(地方開催)

・ 平成 26 年 8 月 19 日(火)

※平成 26 年度は燕三条地域より 9 社 14 点が受賞、うち 1 点が「グッドデザイン・ベスト 100」に選出。

③ 「グッドデザインエキシビション 2014」出展

当地域のデザイン性の高さを PR するため、アジア最大規模のデザインイベントに地域企業 9 社と共同出展した。

◆ 会期:平成 26 年 10 月 31 日(金)～11 月 4 日(火)(5日間)

◆ 会場:東京ミッドタウン

◆ 来場者数 299,324 人

④ デザインギャラリー運営

◆ リ・デザインエキシビション 2014 入賞作品展示(H26.4.1～)

◆ 海外販路開拓への取組み、商品の展示(H26.10.1～)

◆ 燕三条地域の 2014 年度グッドデザイン賞受賞商品展示(H26.10.1～)

◆ 三条テクノスクール修了作品展(H27.2.20～22)

(4) 海外販路開拓支援事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:43,296,613 円、支出決算額 38,245,099 円)

① 海外展開推進会議の開催

◆ 第 3 回 平成 26 年 4 月 25 日(金) 10:40～12:00 (委員 6 人、オブザーバー 4 人)

・ シンガポール調査ミッション報告について

・ 昨年度の海外見本市出展報告について

◆ 第 4 回 平成 26 年 9 月 10 日(水) 14:00～15:30 (委員 8 人、オブザーバー 4 人)

・ 海外見本市出展について

・ 産業交流調査ミッションについて

② 海外販路開拓に関する専門セミナーの開催及び個別指導

◆ 【ドイツの事例から学ぶ ユーザー指向のものづくり】

・ 日時:平成 26 年 6 月 11 日(水) 13:30～15:00

・ 会場:燕三条地場産業振興センター リサーチコア マルチメディアホール

- ・ 講 師：(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長鈴木 里美 氏
 - ・ 参加者：26 人
 - ◆ 【ASEAN 設立の歴史から現在の ASEAN を知る】及びシンガポール海外調査ミッション報告会
 - ・ 日 時：平成 26 年 6 月 20 日(金) 14:00～15:30
 - ・ 会 場：燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）4 階 異業種交流プラザ②③
 - ・ 講 師：(独)中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー秋谷 憲夫 氏、地場産センター
 - ・ 参加者：23 人
 - ◆ 【中東湾岸 6 ヶ国への販路開拓の可能性を探る ～UAE（ドバイ・アブダビ）を知る～】
 - ・ 日 時：平成 26 年 8 月 22 日(金) 14:00～16:00
 - ・ 会 場：燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）4 階 異業種交流プラザ②③
 - ・ 講 師：(独)中小企業基盤整備機構 海外販路開拓シニアアドバイザー 秋谷 憲夫 氏
 - ・ 参加者：20 人
 - ◆ 【EC（電子商取引）からはじめる海外販路開拓について】
 - ・ 日 時：平成 26 年 11 月 12 日（水） 14:00～17:00
 - ・ 会 場：燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）4 階 異業種交流プラザ②③
 - ・ 講 師：(株)エクストラコミュニケーションズ 代表取締役 前野 智純 氏
 楽天(株) 楽天市場事業 地域活性化グループ 柘植 正基 氏
 - ・ 参加者：18 人
 - ◆ 【隠れたチャンピオンの育成及び地域経済の持続的発展に成功したドイツ：日本への示唆】
 - ・ 日 時：平成 27 年 1 月 29 日（木） 14:00～16:00
 - ・ 会 場：燕三条地場産業振興センター（リサーチコア）4 階 異業種交流室②③
 - ・ 講 師：経済産業省 地域経済産業グループ 産業政策分析官 岩本 晃一 氏
 - ・ 参加者：20 人
 - ◆ ドイツ向け商品開発ワークショップ
 - ・ 期 間：平成 26 年 7 月 24 日、8 月 21 日、9 月 25 日、10 月 29 日（全 4 回）
 - ・ アドバイザー：(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長鈴木 里美 氏
 - ・ 参加企業：2 社
 - ◆ アンビエンテ 2015（欧州展示会）レポート&商品開発ワークショップ事例発表
 - ・ 日 時：平成 27 年 3 月 18 日(水) 13:30～15:30
 - ・ 会 場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア 異業種交流プラザ②③
 - ・ 講 師：(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役社長鈴木 里美 氏
 - ・ 参加者：28 人
- ③ シンガポール事務所の活用
- 事務所駐在員及び燕三条製品の販路開拓を委託した現地活動員と連携して、日系小売店や卸売業者などに燕三条の日用金属製品、米や日本酒などの営業活動を行った。
- また、事務所運営協議会構成団体と共同出展した Oishii JAPAN2014 で商談のあった現地企業のフォローアップを行ったことが、燕三条製品の販路開拓や燕三条への観光客誘致に繋がった。
- ◆ 参加自治体等の特産品の販路開拓
 - ・ 現地の高級日本料理店でシンガポール事務所運営協議会構成団体の地元特産品や食器などを使ったパーティーを開催して見込み客の獲得に努めた。
 - ◆ シンガポールからの観光客誘致
 - ・ 第 1 弾：H26. 4/20～24、7 人
 - ・ 第 2 弾：H26. 5/16～24、12 人

◆ 展示商談会への参加

シンガポール事務所運営協議会の構成団体とともに ASEAN 最大の日本食品見本市 Oishii JAPAN2014 へ共同出展した。

その結果、現地の高級日本料理店から燕三条製品を採用いただくなど、シンガポールにおける販路開拓の地歩を固めた。

- ・ 会期：平成 26 年 10 月 16 日(木)～18 日(金)
- ・ 会場：サンテック・シンガポール国際会議展示場
- ・ 来場者数：10,110 名 出展者数：266 社・団体
- ・ 引き合い件数：29 件(燕三条のみ)

④ 展示会への出展

海外で開催される展示会へ出展し、燕三条製品の PR 及び販路開拓を行うことによって、地域企業の海外での新規顧客の獲得に結びついた。

◆ 「METALEX2013」(タイ・バンコク)

- ・ 会 期：平成 26 年 11 月 19 日(水)～22 日(土) (4 日間)
- ・ 会 場：BITEC
- ・ 来場者数：76,054 人、出展者数：2,793 社
- ・ 引き合い件数：117 件

◆ 「メゾン・エ・オブジェ」(フランス・パリ)

- ・ 会 期：平成 27 年 1 月 24 日(土)～28 日(水) (5 日間)
- ・ 会 場：ノールヴィルパント見本市会場
- ・ 来場者数：78,200 人、出展ブランド数：3194 社
- ・ 引き合い件数：121 件

◆ 「メゾン・エ・オブジェ アジア」(シンガポール)

- ・ 会 期：平成 27 年 3 月 10 日(火)～13 日(金) (4 日間)
- ・ 会 場： マリーナベイサンズコンベンションセンター
- ・ 来場者数及び出展者数：10,364 人、274 社
- ・ 引き合い件数：123 件

⑤ テストマーケティングの開催

世界のトレンド発信地であるパリ(フランス)にある日本製品を扱うセレクトショップで燕三条製品の展示販売会(テストマーケティング)を開催した。

- ◆ 会 期：平成 27 年 2 月 6 日(金)～12 日(木) (7 日間)
- ◆ 会 場：日本製雑貨のセレクトショップ「Discover Japan」
- ◆ 出品数：120 製品(13 社)(うち販売数 24 製品)

⑥ 産業交流調査ミッション

製造業を主力産業として奇跡的に経済復興を成し遂げたドイツの中小企業振興施策を参考とするため、バイエルン州の産業支援機関、産業クラスター並びに公設試験研究機関を訪問し、当地域の産業施策への適用や地域企業との連携可能性などの調査を行った。

- ◆ 日 程：平成 27 年 2 月 14 日(土)～19 日(木) (5 泊 6 日)
- ◆ 出張先：(1) アンビエンテ・メッセ 2015 (フランクフルト)
(2) レーゲンスブルグ市経済振興公社 (レーゲンスブルグ)
(3) フラウンホーファー研究機構 (ミュンヘン)
- ◆ 参加者：9 人(海外展開推進会議委員、オブザーバー、事務局)

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

- 収入決算額:72, 802, 270円
(国受託事業収入16, 642, 117円、その他補助金収入20, 160, 000円、
事業収入7, 853, 553円、市負担金収入23, 163, 600円、繰越財源4, 983, 000円)
- 支出決算額:72, 516, 444円

2 事業の成果

- **試作・小ロット品対応力強化プロジェクト事業:**「第5回試作市場 2014」(東京都大田区、5/28～29)などへの出展や、シンクタンク研究員と共同で今後増加すると考えられる個人からの試作・小ロット品の依頼に対応する体制づくりを進めた。
- **産学連携共同研究開発事業:**当地域企業で重要な要素技術の高度化とともに、3Dプリンターなど注目技術を活用するための情報調査を目的とする7テーマの研究会を実施した。地域企業から延べ105人(50社)の参加者があり、情報や試験結果などの提供を行った。
- **技術開発総合支援事業:**地域企業からの各種相談(知的所有権、材料、表面処理、溶接、プレス加工、生産管理、商品開発など)に対し、当センター技術及びデザイン担当職員、並びに外部の専門家と連携しながら課題解決の糸口を見出した。また、リサーチコア・テクノセンター内に設置の機械装置及び測定機器の利用件数は約300件で昨年度の利用件数より減少したが、新規導入機器を中心に利用件数が増加した。
- **デザイン開発力強化事業:**地域企業の商品開発、デザインへの相談対応(27回、14件)、商品パッケージに関するデザインコンペ開催(テーマ2社、デザイナー28名、投票425名)など、個別対応と地域の課題に対する意識向上のイベントを開催した。
- **生活デザイン産業創出事業:**H25年度に開催した協業による開発ワークショップの成果品(4社、8アイテム)を関連展示会に出展。105件の問い合わせ、10セットの成約があった。
- **燕三条ものづくり展示会開催事業:**日本海側最大級のビジネスマッチングのための展示商談会として開催した「燕三条ものづくりメッセ 2014」は、203社・団体からの出展で開催され、目標を大きく上回る5,354名の来場者、終了後の成約件数も60件と、総数で昨年(2013年)の3倍以上、1社あたりとしても平成25年度を大きく上回る成果を得ることができた。
- **戦略的基盤技術高度化支援事業:**戦略的基盤技術高度化支援事業(略称:サポイン)に採択された『生体適合性プラスチック材料を用いた革新的医療用縫合針の研究開発』の管理法人として事業の進捗管理を行った。
- **地域資源活用トータルデザイン推進事業:**地域の技術、素材、人材(コーディネーター・デザイナー・シェフ)を活用した開発ワークショップを開催し、5社が参加、4アイテムを開発。そのうち1アイテムが首都圏百貨店での販売を開始した。また、人気イタリア料理店で地域のPRを行った。

3 実施事業

(1) 試作・小ロット品対応力強化プロジェクト事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:1,155,000円、支出決算額:1,154,895円)

新分野へ展開するため小ロット品や試作開発品の受注を目的としたプロジェクト事業として、第5回試作市場 2014(東京都大田区、H26.5/28～29)に出展し各種部品の加工依頼を受けた。

- ◆ 期間(回数):平成26年4月～平成27年3月 (首都圏展示会出展:1回、研究会:10回)
- ◆ 指導者:ビジネスコーディネーター 小林 貞夫 氏(中小企業診断士)
- ◆ 参加者:13人(13社)

(2) 産学連携共同研究開発事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:3,561,288 円、支出決算額:3,561,040 円)

① 3D プリンター活用技術研究会(新規)

試作品や設計の迅速評価に注目されている 3D プリンターを活用するための研究会を立ち上げ、3D プリンターを取り巻く最新情報の提供を行い、共通の課題である造形品の表面処理や樹脂モデルからの鋳造などに関する共同研究を行った。

- ◆ 期間(回数):平成 26 年 12 月～平成 27 年 3 月(研究会 4 回)
- ◆ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 准教授 南口 誠 氏
- ◆ 参加者:16 人(15 社)

② カuttingエッジ評価技術研究会

各種刃物の刃先形状の定量評価法を研究し、現場で使用できる簡易装置の開発を行った。

会員企業の製品を対象に刃先形状の評価を行い、切れ刃の幅や形状だけでなく、刀身各部の幅やソリなどを数値評価できる測定装置を試作し、設計から定量評価への方向付けを行った。

- ◆ 期間(回数):平成 26 年 7 月～平成 27 年 3 月(研究会 4 回)
- ◆ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 柳 和久 氏
- ◆ 参加者:16 人(14 社)

③ 先進バリ取り技術研究会

バリ取り技術を当地域のコア技術として差別化し、高品位で低コストのバリ取り技術の確立を進めている。機械加工や板金加工でのバリ発生メカニズムの理解を深め、磁気バレルやウォータージェットなどを用いたバリ取り活用技術の習得を行った。

- ◆ 期間(回数):平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月(研究会 5 回)
- ◆ 指導者:関西大学 名誉教授 北嶋 弘一 氏
- ◆ 参加者:13 人(10 社)

④ 航空機産業参入研究会

航空機の整備や運行部門へ参入するため航空機のスクラップを利用した記念品製作し提案型開発を行った。さらに、指導者が開発中の米国向けレジャー用航空機の製作に参画し機体の開発を進めた。

- ◆ 期間(回数):平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月(研究会 6 回)
- ◆ 指導者:(株) ATR ヤマト 代表取締役 吉田 宗玄 氏
- ◆ 参加者:6 人(6 社)

⑤ タグチメソッド活用研究会

品質工学(タグチメソッド)による技術開発手法を活用して企業の開発効率を高めるため、専用ソフトウェアを使用し、品質工学の基礎と活用方法の習得及び課題演習を行った。さらに、企業への導入に関するサポートも行った。

- ◆ 期間(回数):平成 26 年 8 月 ～平成 26 年 12 月(研究会 5 回)
- ◆ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 田辺 郁男 氏
- ◆ 参加者:5 人(4 社)

⑥ 新技術・新材料研究会

当地域企業向けの新技術・新材料などに関する最新情報を提供し新分野への参入を支援した。また、県内先進企業の見学会や、ロボット関連技術、コーティング、微細レーザー加工などの表面技術など、最新技術情報セミナーを開催した。

- ◆ 期間(回数):平成 26 年 6 月～平成 27 年 3 月(研究会 9 回)
- ◆ 指導者:長岡技術科学大学 機械系 教授 永澤 茂 氏
- ◆ 参加者:15 人(11 社)

⑦ 長岡技術科学大学との連携協議会の開催(新規)

大学教員との意見交換会並びに参加企業及び大学研究室の見学会を行い、大学と参加企業、並びに当地域全体としての新しい連携について意見交換を行った。

◆ 期間:平成 26 年 12 月～平成 27 年 3 月(見学会 1 回 研究会情報提供 1 回)

◆ 参加者:21 人(21 社)

(3) 技術開発総合支援事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:5,080,865 円、支出決算額:4,833,988 円)

① 知的所有権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による個別相談会(月 1 回)を実施した。

◆ 指導者:ジーベック国際特許事務所 所長 清水 善廣 氏、弁理士 小松 悠有子 氏

◆ 相談件数:32 件(16 社)、出願:2 件(意匠・実用新案)

② 技術専門家派遣

地域企業からの技術や生産管理などに関する課題の相談に対して、企業や大学 OB などの専門家を企業に派遣し、課題解決に向けてのアドバイスをを行った。

また、当地域の技術に精通し、経験豊富で専門的知識を持つ OB12 名を派遣専門家として登録し人材活用を行った。

◆ 派遣指導者:8 人(対象企業:8 社)

③ 職員による技術相談

当地域企業が抱える材料、表面処理、溶接及びプレス加工などの課題について、当センターの技術職員が、課題解決策を提案した。

◆ 相談件数:41 件(35 社)

④ 機器利用促進

当センターテクノセンター内の機械装置や測定機器の利用促進のための機器利用説明会を随時開催し、13 人(6 社)の新規利用があった。

⑤ 支援事例集の作成

知的所有権、技術相談に関する各種支援事例及び機械設備等活用事例集の作成を進めた。

【機械設備利用状況】

単位:件)

名 称	H26 年度	H25 年度	H24 年度
3D測定レーザー顕微鏡	10	30	38
多関節型 3 次元デジタイザー	24	22	4
蛍光X線分析装置	39	53	55
走査型電子顕微鏡	6	17	30
レーザーマーカー	75	134	100
デジタルマイクロスコープ	8	4	14
3 次元デジタイジング装置	22	10	11
FEM シミュレーションシステム	0	0	3
3 次元デザイン CAD システム	44	28	14
高速度デジタルビデオカメラ	7	5	4
万能塑性加工試験機	2	3	13
HIP 装置(熱間等方加圧装置)	49	85	112
3D プリンター	13	-	-
合 計	299	391	398

(4) デザイン開発力強化事業(担当:燕三条ブランド推進室)

(収入決算額:2,291,000 円、支出決算額:2,290,638 円)

① 商品企画・デザイン開発個別相談

地域企業の新商品企画、デザイン開発などの相談にセンター専門職員が対応し、内容によりデザイナーとのマッチングを行った。

◆ 相談件数:14 件(13 社)・27 回

② リ・デザインエキシビジョンの開催

商品パッケージなどを見直したい企業に対しデザイナーが新たにデザインを提案し、人気投票をするイベントを開催、デザイナーと製造企業のマッチングを行った。

◆ テーマ企業:2 社、参加デザイナー:28 名

◆ 人気投票:平成 27 年 2 月 20 日(金)~3 月 9 日(月)(18 日間)

◆ 会場:燕三条地場産センター物産館、燕三条 Wing

◆ 投票者数:425 人

◆ 受賞展示:平成 27 年 3 月 18 日(水)~3 月 22 日(日)(5 日間)

③ 地域デザイン団体活動支援

◆ 燕三条デザイン研究会(会員:64 名、全体例会 5 回、グループ例会 23 回)

◆ つばめデザイン研究会(会員:7 名、全体例会 2 回)

(5) 生活デザイン産業創出事業(担当:燕三条ブランド推進室)

(収入決算額:2,934,000 円、支出決算額:2,933,444 円)

趣味空間を作り出すフレームやアイテムを試作開発するワークショップを開催し、新市場の創出を試みた。本年度は事業内開発品の販路開拓を目的とした展示会に出展した。

◆ 朝日住まいづくりフェア 2014「ガレージング EXPO」

・ 開催日:平成 26 年 5 月 29 日(木)~6 月 1 日(日)(4 日間)

・ 会場:東京ビッグサイト

・ 来場者数:33,046 名

・ 参加企業:4社(8 アイテム)

・ 問い合わせ数:150 件(成約数 10 セット)

(6) 燕三条ものづくり展示会開催事業(担当:技術開発課)

(収入決算額:39,983,000 円、支出決算額:39,284,268 円)

「燕三条ものづくりメッセ 2014」

燕三条地域のものづくり企業を中心に全国各地域の企業が開発した新製品、技術、サービスなどを一堂に展示紹介し、県内外企業の開発・購買担当者などに対して提案しながら販路開拓、市場創出、業務提携など、ビジネスマッチングにつなげるための日本海側最大級の展示・商談会を開催した。

◆ 会期:平成 26 年 10 月 1 日(水)~2 日(木) (1 日:10:00~17:30、2 日:10:00~16:00)

◆ 出展者:203 社・団体(小間数 223 ブース)

◆ 来場者:5,354 名 (10 月 1 日:2,425 名、10 月 2 日:2,929 名)

◆ 引合件数:1,531 件(相談、引合い・見積件数の合計。展示会終了時のアンケート結果による)

◆ 成約件数:60 件(展示会終了時のアンケート結果による)

(7) 戦略的基盤技術高度化支援事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:17,304,154 円、支出決算額:16,642,117 円)

技術開発に関する国の受託事業の事業管理機関として、アドバイザーとともに研究開発の進捗管理を行った。3年計画の最終年となる平成26年度は、生体適合性プラスチック縫合針の開発に向け試作設備と試験設備を導入し、プラスチック縫合針などの実用化に向けた試作と検証評価を行った。

- ◆ 開発テーマ:『生体適合性プラスチック材料を用いた革新的医療用縫合針の研究開発』
- ◆ 法認定事業者:ケイセイエンジニアリング株式会社(燕市)
- ◆ 研究開発実施機関:7社
- ◆ 研究開発推進委員会:3回開催

(8) 地域資源活用トータルデザイン推進事業 (担当:燕三条ブランド推進室)

(収入決算額:1,155,000 円、支出決算額:1,154,017 円)

地域の技術、素材、知恵を活用し、商品開発から発信を一貫して行う、コーディネータ、デザイナー、シエフによるプロジェクトチーム発足。「食」をテーマにしたワークショップを開催、商品開発や新分野への提案を行った。

- ◆ 参加企業:5社(4アイテムを試作)
- ◆ ワークショップ開催:6回
- ◆ 成果:1アイテムを商品化し、平成27年4月より首都圏百貨店で販売を開始した。また、燕三条をコンセプトにした人気店「燕三条イタリアン Bit」に地域の素材・技術を活用した内装提案を行い、地域をPRした。

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

- 収入決算額:23,475,330円
(県補助金4,297,000円、事業収入393,000円、固定資産売却収入1,346,628円、市負担金17,438,702円)
- 支出決算額:21,218,805円

2 事業の成果

- **プライドプロジェクト支援事業:** プロジェクトのメンバーを中心に組織する、「畑の朝カフェ」実行委員会を支援し、企画、調整に参画した。畑の朝カフェを年間5回開催して、燕三条地域の食の魅力を高めた。また、「ブランキングアート展」を企画・運営し、期間中述べ約2,000人の来場があった。
- **産業観光推進事業:** 燕三条ものづくりの心に出会う「まちあるき」を春と秋に開催した。立寄り先と参加者の距離間がとても近いと好評で、春は20コース開催し348人、秋は18コース開催で195人の参加があった。とりわけ春はメディアからの取材も多く、燕三条地域外からの参加者も多かった。
- **燕三条 Wing 運営事業:** 燕三条ブランドの積極的なプロモーション活動として、情報発信拠点である燕三条 Wing にて、各種イベントを開催した(年間11回)。
- **燕三条ブランド販路開拓事業:** 燕三条ブランドマーク使用認証製品等を、世界有数の消費財見本市であるアンビエンテ2015に出品した。21社、200製品の参画により展示を行い、会期中に106件の問い合わせがあった。また、世界最高峰のフランス料理コンクール「ボキューズ・ドール 2015」に向けたプロジェクトによる、キッチンツールの開発支援を行った。その製品はコンクールで使用され、燕三条の技術力をPRできた。

3 実施事業

(1) プライドプロジェクト支援事業

(収入決算額:2,078,000円、支出決算額:2,032,098円)

① 燕三条ブランド推進会議等の開催

燕三条地域の商工会議所、商工会、観光協会などの代表や役員等で委員会を組織し、燕三条ブランドの事業の検討を進めるとともに、ブランドマーク使用申請について承認を行った。

開催日	協議題
第1回 平成26年8月21日	・平成26年度燕三条ブランド事業の進捗について ・燕三条ブランドマーク使用の申請について
第2回 平成27年3月3日	・平成27年度燕三条ブランド事業計画について ・要綱の一部改正について ・燕三条ブランドマーク使用の申請について

② 燕三条プライドプロジェクト会議の開催

プロダクト、レストラン、ツーリズム、プロモーションの各グループリーダー等が中心となって燕三条ブランド確立に向けて協議を行った。

グループ名	会議開催数(回)
プロダクトグループ	3
レストラングループ	14
ツーリズムグループ	19
プロモーショングループ	3

(2) 産業観光推進事業

(収入決算額:2,762,979 円、支出決算額:2,483,804 円)

① 燕三条まちあるき

プライドプロジェクトツーリズムグループでまちあるきイベントを主催し、地域を愛するナビゲーターを通じて地域の魅力を再認識できるコースを企画実施した。

◆ 2014 春

- ・ 開催期間:平成 26 年4月 12 日(土)~6月 28 日(土)
- ・ コース数:20 コース
- ・ 参加人数:348 人

◆ 2014 秋

- ・ 開催期間:平成 26 年9月 27 日(土)~11 月 30 日(日)
- ・ コース数:18 コース
- ・ 参加人数:195 人

② 燕三条グリーンツーリズム事業の推進

燕三条エリアで自然体験等の活動に取り組んでいる団体のイベントを取りまとめパンフレットを作成し、地域の小学校全児童に配布するなど情報発信を行った。

◆ 19 団体、39 イベント、20,000 部

また、団体間の連携を模索する取り組みとして、活動報告会と交流会を行った。

③ 「全国産業観光フォーラム」の誘致

◆ 「全国産業観光フォーラム in 燕三条」開催の PR

秋田県鹿角郡小坂町で開催された産業観光フォーラムで、平成 27 年度開催地としてプレゼンテーションを行った。

- ・ 日 時:平成 26 年 10 月 30 日(木)

◆ 「産業観光まちづくり大賞 経済産業大臣賞」受賞

「燕三条プライドプロジェクト」と「燕三条 工場の祭典」が第8回産業観光まちづくり大賞特別賞の「経済産業大臣賞」を受賞した。

◆ 平成 27 年度 「全国産業観光フォーラム in 燕三条」第1回 実行委員会準備会の開催

- ・ 日 時:平成 27 年 2 月 20 日(金)9:00~10:00

(3) 燕三条Wing運営事業

(収入決算額:5,868,723 円、支出決算額:5,097,737 円)

① 燕三条 Wing の情報発信機能の充実

観光コンシェルジュとして、燕三条を訪れた観光客やビジネスマンをはじめとする来訪者からの相談や照会に対して、観光スポットや観光コースなどの提案を行った。

*月別対応件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
H26	51	61	71	44	53	56	73	60	21	30	30	48	598
H25	70	96	80	61	91	68	88	61	46	30	39	35	765

② 燕三条地域のイベント情報の集約と発信

燕三条および周辺地域で行われる季節ごとのイベント情報を集約し、当センターのホームページ「燕三条夢創紀行」にて、旬の情報を発信した

③ 燕三条 Wing イベントの実施

燕三条ブランドの発信拠点である燕三条 Wing への誘客・認知の向上等を目的に、毎月イベントを 開

催した。また工場の祭典などの地域イベントと連動する企画も行い、誘客・PRとも相乗効果を上げることができた。

◆ 開催期間：平成26年4月～平成27年3月

④ 燕三条Wing 店舗の一部改装

燕三条ブランドマーク使用認証製品コーナーの設置や壁面にブランドマークを施す等の改装工事を行い、燕三条ブランドの認知向上とイメージアップを図った。

⑤ 燕三条Wingで展示販売する高品質な商品を、全国の自治体等が参加する通販サイトに出品して、広域的で継続的な販路開拓を行った。

◆ 自治体特選ストア(GOVERNMENT TOKUSEN STORE)サイトへの参加

(4) 燕三条ブランド強化・発信事業

(収入決算額:12,765,628円、支出決算額:11,605,166円)

① 燕三条「畑の朝カフェ」によるブランド発信

食の宝庫である燕三条地域の生産現場と生産者の魅力を十分に知っていただくため、体験型カフェ「畑の朝カフェ」の開催を支援した。

◆ 開催回数:5回

◆ 参加者:169人

② 海外コンクール向け製品開発の支援

世界最高峰のフランス料理コンクール「ボキューズ・ドール 2015」で日本代表シェフが使用するキッチンツールの開発を行うプロジェクトを支援し、世界中の料理関係者に向け燕三条製品の品質やデザイン、技術をPRした。

◆ (株)玉川堂(盛り付け用小プレート、ティーポット、ソースポット)

◆ 小林工業(株)(フォーク先端研削加工)

◆ 藤寅工業(株)(ナイフ刀身ダマスカス加工)

◆ マルナオ(株)(箸、レンゲ、デザートスプーン)

③ ブランキングアート展 2014 の企画・運営

◆ 出品者:12社(12作品)

◆ 会場:燕三条Wing、リサーチコア3F デザインギャラリー

※11月6日から燕市産業史料館にて巡回展示

◆ 期間:平成26年9月20日(土)～10月30日(木)(41日間)

◆ 来場者:延べ約2,000人(うちスタンプラリー参加者157人)

④ 「燕三条こうばのじてん」の配信

平成25年度に作成した「こうばのじてん」のデータ配信をブランキングアート展に合わせて開始、約2,500ダウンロードがあった。

⑤ 「アンビエンテ 2015」への出展

「モダンなキッチン・テーブルアクセサリ」をテーマに、燕三条が誇る高品質で高機能、デザイン性に優れた製品の展示・PRを図った。

◆ 会期:平成27年2月13日(金)～17日(火)(5日間)

◆ 会場:フランクフルト国際見本市会場

◆ 来場者:152か国、約135,000人

◆ 出品企業・製品:21社、200製品

◆ 問い合わせ数:106件

【4】 企業人材育成事業

1 収支決算額

○ 収入決算額:15,238,422円

(その他補助金収入1,032,156円、事業収入5,074,266円、市負担金9,132,000円)

○ 支出決算額:14,168,190円

2 事業の成果

- **燕三条ものづくり大学事業(技術研修講座)**:当地域のものづくり企業で必要となる「金属材料」、「図面の見方・描き方」に加え、技術者として必要な数学、物理などの基礎講座を実施した。
また、「知財活用」、「課題解決力強化」の応用技術講座など全10講座を開講し、基礎技術講座を中心に募集定員を上回る参加者があり、地域企業からの研修受講ニーズに対応した。
- **戦略的ものづくり経営力強化事業**:地域企業の営業力を強化するため、新市場への事業展開を見据えた実践的なマーケティングの演習と営業戦略の立案に関するセミナーを開催した。
また、専門家派遣事業では、生産管理、顧客満足(CS)、商品企画などの企業経営に関する相談に対し、専門家より直接企業に出向いていただき指導・助言を行った。
- **企業向けIT関連支援事業**:企業内でITを有効活用できる人材を育成する講座を開催した。また、最新の企業支援情報をホームページ及びメールマガジン(月2回)等で情報発信したほか、産業振興部事業のPRと利用促進のための「リサーチコアレポート」を3回発行した。

3 実施事業

(1) 燕三条ものづくり大学事業(技術研修講座)(担当:技術開発課)

(収入決算額:3,391,000円、支出決算額:2,321,758円)

地域企業の製造・開発部門に必要な金属材料、図面などの基礎的技術の習得講座や、溶接、プレス加工など専門技術の習得講座などを開講した。

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
①金属材料基礎講座	H26.5/25～8/5 (2h×12回)	20	23
②図面の見方・描き方入門講座	H26.8/19～9/12 (2h×9回)	20	27
③製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	H26.6/18～7/16 (2h×5回)	15	24
④溶接技術集中講座	H26.7/14～7/15 (3h×3回)	20	24
⑤プレス加工集中講座	H26.10/24～11/14 (3h×4回)	15	33
⑥表面処理集中講座	H27.1/15～1/27 (3h×3回)	15	12
⑦熱処理技術集中講座	H26.11/20～12/4 (3h×3回)	15	25
⑧精密板金設計と加工の要点集中講座	H26.11/29 (8h×1回)	15	16
⑨知財活用技術講座	H27.3/13～3/20 (3h×2回)	10	17
⑩課題解決力強化講習会	H26.6/11～9/11 (3h×8回)	10	6
合計	(全10コース・50回・129時間)	155	207

(2) 戦略的ものづくり経営力強化事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:2,279,128円、支出決算額:2,278,911円)

地域企業の営業力を強化するため、新市場への事業展開を見据えた実践的なマーケティングの演習と営業戦略の立案に関するセミナーを開催した。

また、国が認定した創業支援事業計画に基づき、創業支援事業者(三条商工会議所、(協)三条工業会、三条信用金庫、燕三条地場産センター)が実施する、専門家派遣による個別相談、創業塾、窓口相談、セミナー開催などの補助金事業の管理法人として進捗管理や経理事務などを行った。

① 営業力強化のためのマーケティング手法セミナー

- ◆ 日 時:平成 26 年 8 月 22 日(木) 14:00~16:00
- ◆ 会 場:燕三条地場産業振興センター(リサーチコア)4 階 異業種交流プラザ②③
- ◆ 講 師:(有)タカザワ企画 代表取締役 高澤 彰 氏
- ◆ 参加者:9名(9社)

② 戦略的事業創出プロジェクト(新規)

地域企業からの新商品開発や既存商品の見直し、新事業立ち上げについて相談を受け、ものづくり・商業・サービス革新補助金の申請アドバイス、県内大学の留学生とのネットワーク構築、中小企業基盤整備機構のアドバイザーなどを活用しながら、地域企業 2 社に対して事業の方向付けを行った。

③ 専門家を直接企業へ派遣し、個別企業の課題解決への対応を行った。

(3) 企業向け情報提供事業(担当:企業支援課)

(収入決算額:9,568,294 円、支出決算額:9,567,521 円)

企業内で IT を有効活用できる人材を育成する講座を開催した。また、最新の企業支援情報をホームページ及びメールマガジン(月 2 回)等で情報発信したほか、産業振興部事業の PR と利用促進のための「リサーチコアレポート」を 3 回発行した。

① 広報活動の強化

◆ ビジネス情報等の提供

センターHP から、企業向けの支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

- ・ ビジネス情報掲載件数:307 件

◆ メールマガジンの発行

- ・ 毎月 2 回(年間 24 回)配信
- ・ 掲載情報件数:242 件
- ・ 3 月末メルマガ配信登録者数:680 件

◆ 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年 3 回)

第 5 号(9 月)、第 6 号(12 月)、第 7 号(3 月)

② 企業向け研修会の開催

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
イラストレーター中級講座① (Illustrator を使いこなして自社のチラシをリデザイン！)	H26.5/15~5/29 (2h×5 回)	8	4
エクセル活用講座① (仕事の効率を上げる Excel 活用講座)	H26.5/21~6/4 (2h×5 回)	15	11
イラストレーター入門講座① (初心者のための Adobe Illustrator 入門講座)	H26.7/10~7/24(2h×5 回)	8	5
ソーシャルメディア活用講座 (Twitter・Facebook・LINE 活用法セミナー)	H26.8/19~8/26 (2h×3 回)	10	9
イラストレーター中級講座② (Illustrator を使いこなして自社のチラシをリデザイン！)	H26.9/2~9/16 (2h×5 回)	8	3
ネット販売のための商品撮影講座	H26.9/17~9/19 (2h×3 回)	10	15
エクセル活用講座② (仕事の効率を上げる Excel 活用講座)	H26.10/28~11/11(2h×5 回)	15	8
イラストレーター入門講座② (初心者のための Adobe Illustrator 講座)	H26.11/27~12/11(2h×5 回)	8	8
イラストレーター中級講座③ (中級 Illustrator 講座)	H27.1/13-1/27 (2h×5 回)	8	3
合 計	全 9 コース・41 回・82 時間	90	66

③ IT 活用個別相談事業

IT を活用した社内事務作業の効率化などへの課題を解決するため、専門家を直接企業に派遣し、課題解決に向けてのアドバイスをを行った。

◆ 相談件数4件(4社)、派遣指導者数2名

④ 情報研修室 OA 機器、研修用ビデオの貸出し

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備考
パソコン	5 件	342,324 円	情報研修室、貸出し用 PC
プロジェクタ 他	5 件	24,680 円	
研修用ビデオ・DVD	12 件(62 本)	無料	

⑤ ホームページ・フリースポットの管理・運営

各事業のグローバル化に対応するため、2 年計画でセンターホームページのリニューアルを進める。平成 26 年度は現状分析、課題整理、サイト構成の再構築、システムのベースづくりなどを行った。平成 27 年度は、全体調整を図りながら多言語化(英語、中国語)への対応を進める予定である。

⑥ 情報関連機器の維持管理他

各種サーバやIT機器のメンテナンスとバックアップの実施。

【5】需要開拓事業

1 収支決算額

- 収入決算額:157, 256, 569円
(事業収入146, 256, 569円、市負担金3, 000, 000円、前期繰越金8, 000, 000円)
- 支出決算額:72, 448, 323円

2 事業の成果

- **展示・即売事業:**燕三条ブランドコーナー新設など物産館のリニューアルを行い、消費者ニーズに合わせた話題性のある販売品目の拡充を行った。また、イベントの開催や関係団体と連携したイベントへの参加を通して県内外の消費者に燕三条製品の良さをPRし産地製品の販路拡大に努めた。
県外への誘客宣伝活動と大手旅行会社とタイアップした産業観光の推進、近隣県の商工団体等への視察案内などを行い、「ものづくりのまち燕三条」のPRを行った。
団体バスでの来館は減少傾向にあるが、観光情報誌等への広告掲載の結果、個人やグループでの来館者が増え売上が増加した。
- **燕三条駅観光物産センター事業:**特に利用の多いビジネス客に対して無線インターネット利用環境やネット検索性パソコンの貸出により、JR利用者を中心に来場者数が増加した。
また、地元企業や商品がメディアに取り上げられた影響で、ものづくりのまち燕三条の製品を買い求めに来る来館者が増え売上が増加した。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額:133,161,491 円、支出決算額 55,752,510 円)

- ① 展 示: 332 小間 収入 6,956,200 円
- ② 即 売: 売上金額(284,119,855 円) 収入 110,625,205 円

【自主イベント等の内容】

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	H26.5/3~6(4日間)	約 12,600 人
お盆フェア	H26.8/14~17(4日間)	約 12,700 人
年末刃物フェア	H26.12/12~14(3日間)	約 5,700 人
観光バス来館	通年	982 台

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業収入:24,095,078 円、支出決算額:16,695,813 円)

- ① 展 示: 168小間 収 入 2,508,000 円
- ② 即 売: 売上金額 60,200,123 円 収 入 21,023,546 円

【6】収益事業

1 収支決算額

- 収入決算額:120, 232, 540円
(事業収入124, 201, 540円)
- 支出決算額:72, 472, 856円

2 事業の成果

- **他地域連携販売事業:**刃物に関する多彩なイベントを併設した刃物フェアを開催し、燕三条製品のPRと販路の拡大を行った。また、県内特産品の販売も併せて行い観光施設のイメージアップを図り多くの来館を促した。
- **貸館事業:**DM発送による新規利用者獲得や、コミュニケーションによる顧客満足度を上げ、気軽に利用してもらえるよう心がけた。また、綿密に利用者との打合せを行いイベントの成功を支援しつつ、急な要望にも迅速に対応することにより満足度の高いサービスを提供した。
- **レストラン運営事業:**食を通し燕三条を伝えることをコンセプトに、地産食材や地場製品のテーブルウェアの利用を愉しんでもらう場を提供した。
団体昼食の受け入れ制限や、座席数の減少により全体の売上は減少したが、レストラン貸し切りパーティー及び会館内を会場としたパーティーの売上は増加した。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額 3,940,919 円、支出決算額 1,952,072 円)

地域外取扱商品販売金額	9,811,963 円
他地場産センター商品販売金額	2,525,051 円

(2) 貸館事業

(収入決算額 65,890,151 円、支出決算額 11,435,918 円)

【会場利用状況】

- ◆ 施設利用者数:218,594 名(前年度 231,291 名)
- ◆ 施設利用状況(金額・利用率)

施設名	26年度	25年度
メッセピア	51,482,776 円	53,306,482 円
1F:多目的大ホール	32.5%	31.7%
3F:中会議室	39.0%	38.9%
4F:大会議室	38.5%	35.5%
4F:特別会議室	5.3%	7.2%
4F:小会議室(和室)	28.7%	29.6%
5F:総合研修室	42.2%	42.1%
5F:ミーティングルーム	46.7%	47.3%
リサーチコア	15,718,875 円	16,281,450 円
6F:研修室	26.8%	29.2%
7F:マルチメディアホール	27.8%	26.4%

(3) レストラン運営事業

(収入決算額 50,401,470 円、支出決算額 59,084,866 円)

【レストラン収入決算額の推移】

年度	収入決算額
平成 26 年度	52,669,470 円
平成 25 年度	55,878,977 円
平成 24 年度	67,237,966 円

附 属 明 細 書

平成26年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事項はありません。